令和８年１１月５日
交通政策審議会
第１０１回港湾分科会
資料１

令和8年熊本地震における港湾の対応について

国土交通省

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

令和8年熊本地震による港湾施設の被害等の状況

国土交通省

R8.8.28 17:00時点

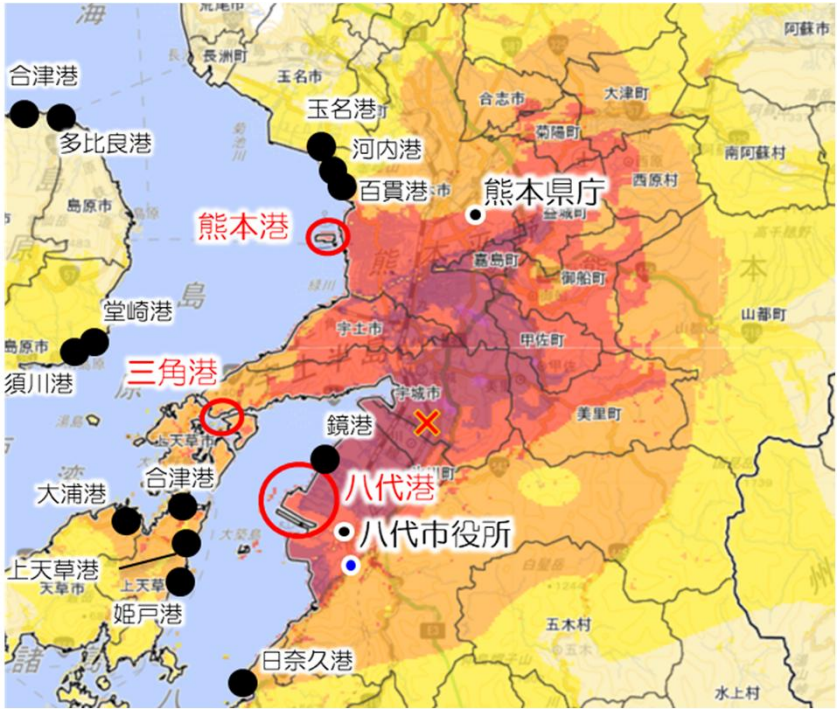
○ 九州の西側５県の99港で震度４以上、うち４港（三角港・八代港・日奈久港・鏡港）で震度６強以上が観測された。被災は最終的に９港で確認された。

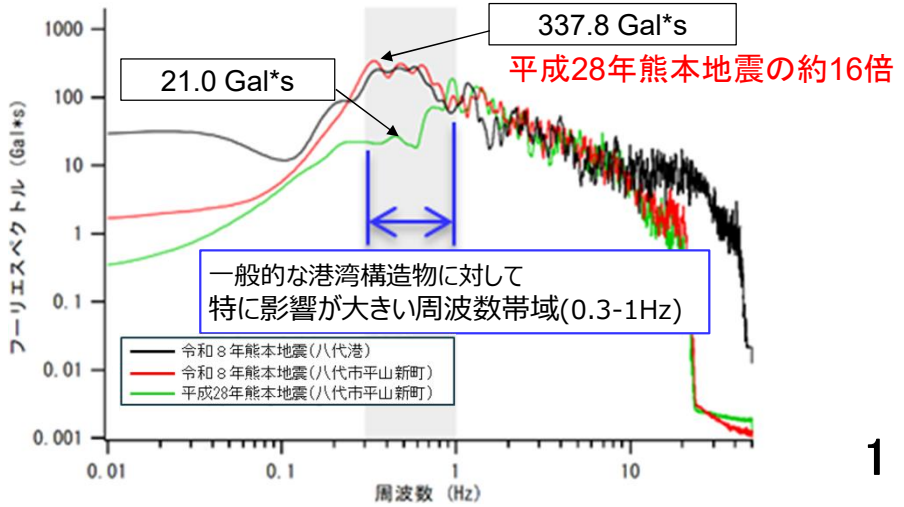
熊本県の震度４以上の港湾

港名	各市町	震度	被害状況	
重要港湾 三角港	宇城市 上天草市	7	有	海のピラミッド前面や県漁業取締事務所浮桟橋付近の歩道で、亀裂等が発生
重要港湾 八代港	八代市	6+	有	岸壁本体への被害が発生したほか、岸壁背後の段差、液状化、陥没、ガントリークレーンの損傷等が発生
重要港湾 熊本港	熊本市	5+	有	フェリー渡橋（県財産）、ガントリークレーンが損傷、臨港道路の破損や亀裂が発生
水俣港	水俣市	5+		被災なし
百貫港	熊本市	5+	有	被災なし
本渡港	天草市	5+		被災なし
大門港	天草市	5+		被災なし
大浦港	天草市	5+		被災なし
鬼池港	天草市	5+		被災なし
富岡港	苓北町	5-		被災なし
姫戸港	上天草市	6-		被災なし
合津港	上天草市	6-		被災なし
佐敷港	芦北町	5-		被災なし
長洲港	長洲町	4		被災なし
河内港	熊本市	5+		被災なし
高浜港	天草市	5+		被災なし
牛深港	天草市	5+		被災なし
田浦港	芦北町	5-	有	岸壁エプロン等に亀裂等
日奈久港	八代市	6+	有	護岸の沈下
鏡港	八代市	6+	有	物揚場のひび割れ
荒尾港	荒尾市	4		被災なし
天草港	天草市	5+	有	野積場舗装面にクラック等
上天草港	上天草市	6-	有	物揚場にひび割れ等
上津深江港	苓北町	5-		被災なし
都呂々港	苓北町	5-		被災なし
呑崎港	玉名市	5-		被災なし

位置図

※出典：気象庁HPより





八代港外港地区の被災状況と調査の実施

国土交通省
R8.10.2 09:00時点

○ 八代港以外を含め、発災直後よりTEC-FORCE延べ1,900人（10/2時点）を派遣し、現地の被災状況を迅速に把握し、対策を検討・実施。



令和8年熊本地震における八代港の対応の経緯

国土交通省

R8.10.26 11:00時点

出来事		応急復旧に向けた取り組み （調査・測量・利用可否判断等の実施状況）	港湾利用の利用状況 ※入出港日ベース
7/28（火）	16時27分頃地震発生	外港地区の耐震10m岸壁（180m）を応急復旧し支援船利用が可能	
7/29（水）		12mコンテナ岸壁（200m）の支援船利用が可能	外港地区で海上保安庁が巡視艇を活用した支援開始（～8/26）
7/30（木）	熊本県現地対策本部設置	外港地区のドローン調査及び深浅測量が完了 外港地区の14m穀物バース（280m）の支援船利用が可能	外港地区で海上自衛隊の自衛艦が支援開始（～9/4）
7/31（金）	政府非常災害対策本部設置	外港地区の岸壁法線測量が完了 内港地区の4.5m岸壁（390m）	内港地区で九州地整の海輝・海煌が支援開始（～8/28）
8/1（土）		外港地区の岸壁空洞化調査が完了	外港地区で中部地整のドラグ船「清龍丸」が支援開始（～8/5）
8/2（日）	熊本県の港湾法に基づく要請	外港地区の10m岸壁（150m）の支援船利用が可能	
8/3（月）	総理視察	国の一部施設の管理を開始 内港地区の5.5m岸壁（90m）の支援船利用が可能	
8/4（火）	242億円の予備費使用の閣議決定	外港地区の9m岸壁（125m）の支援船利用が可能	外港地区で陸上自衛隊「はくおうⅡ」が支援開始（～9/13）
8/5（水） ～	国交大臣視察（8/8～9）	外港地区の12mコンテナ岸壁でメーカー等がクレーンの状況を確認（8/7～8） 内港地区の5.5m岸壁の支援船利用が440mに拡大（8/10）	
8/12（水）		外港地区の14m穀物バースの貨物船利用が可能 「八代港被災施設復旧技術検討委員会」設置	外港地区14m穀物バースで穀物運搬船が利用再開
8/13（水） ～	熊本県知事の東京要望（8/18） 国交大臣視察（8/22～23） 「被災者の生活となりわい支援のためのパッケージ」とりまとめ（8/27）	内港地区5.5m岸壁の空洞化調査が完了（8/16） 外港地区の10m岸壁（150m）と内港地区の5.5m岸壁（440m）の貨物船利用が可能（8/18） 外港地区の12mコンテナ岸壁、10m耐震岸壁の貨物船利用が可能（8/21） 外港地区の12mコンテナ岸壁でメーカー等がクレーンの動作確認、レール点検等を実施（8/24～26）	内港地区5.5m岸壁で穀物運搬船が利用再開（8/22） 外港地区14m穀物バースで大型穀物運搬船（パナマックス船）が利用再開（8/24） 内港地区5.5m岸壁で石灰石が荷役再開（8/25）
8/28（金）	1,478億円の予備費使用の閣議決定	外港地区の10m岸壁（150m）の貨物船利用を235mに変更 貨物船の岸壁利用の可否判断が完了 外港地区の12mコンテナ岸壁の11月中の暫定供用の公表 第2回「八代港被災施設復旧技術検討委員会」開催	
8/31（月） ～	現地復旧・復興本部設置（8/31） 政府非常災害復旧復興本部及び地震復旧・復興支援チーム設置（9/4）	国の一部施設の管理を内容を一部変更の上延長（9/2～11/30） 外港地区の12mコンテナ岸壁の段階的復旧による暫定供用の10月中への前倒し（9/11） 第3回「八代港被災施設復旧技術検討委員会」開催（9/16）	外港地区10m岸壁で鋼管杭が荷役再開（8/31） 外港地区10m岸壁で原木が荷役再開（9/2）
9/17（木） ～		「八代港復旧設計方針」取りまとめ、公表（9/30） 段階的復旧により、外港地区の12mコンテナ岸壁のガントリークレーンによる暫定利用が可能（10/18）	外港地区12mコンテナ岸壁でコンテナ荷役再開（10/26）

八代港外港地区における応急復旧と利用可否判断

国土交通省
R8.9.2 14:00時点

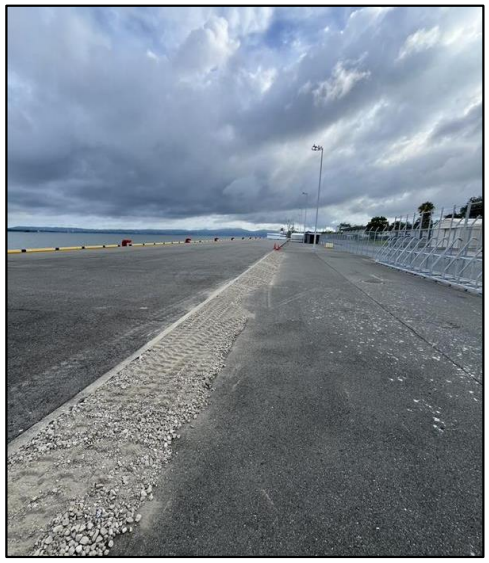
○ 港湾機能の早期回復に向け、国総研・港空研と九州地整が連携して、被災岸壁の利用可否を判断。

○ 耐震強化岸壁と本体に大きな被害を受けなかった12m岸壁〔コンテナターミナル〕は、背後用地に発生した段差の応急復旧等により、地震発生の翌日７月29日からの支援船の受け入れを可能にした。

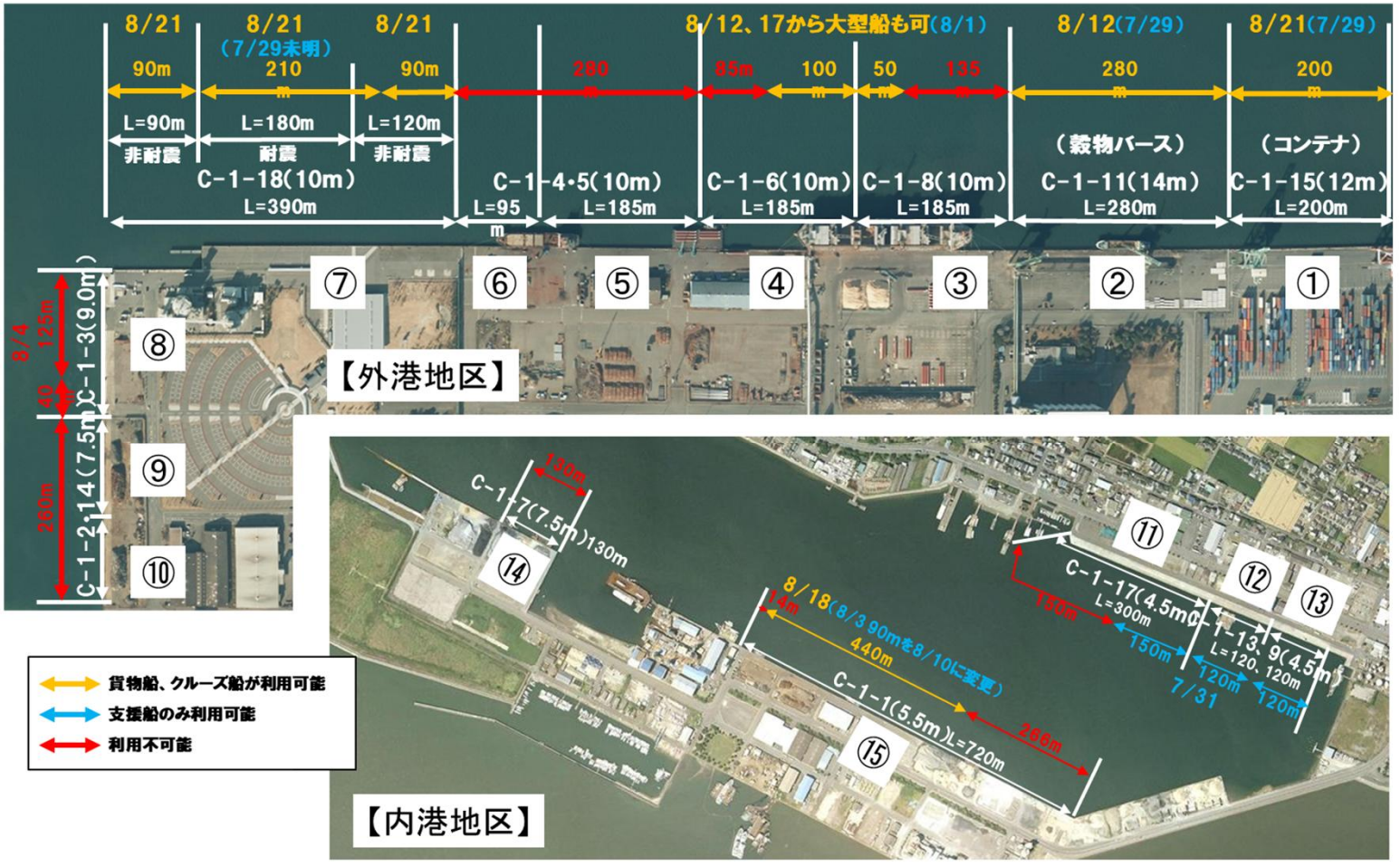
○ 熊本県からの要請を受け、国土交通省が８月３日から港湾の利用調整やその前提となる施設の利用可否判断等、八代港の港湾施設の一部を管理代行を実施。

○ 以降、支援船の受け入れを順次拡大するとともに、８月12日からは貨物船の受け入れを再開した。





国総研、港空研による現地確認状況



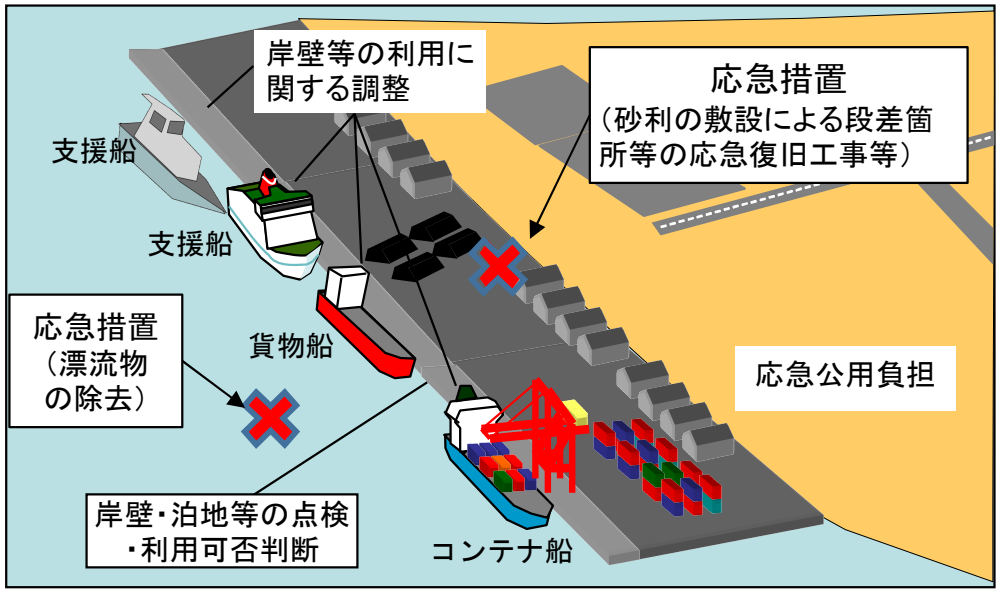
港湾法第55条の3の3の概要

国土交通省

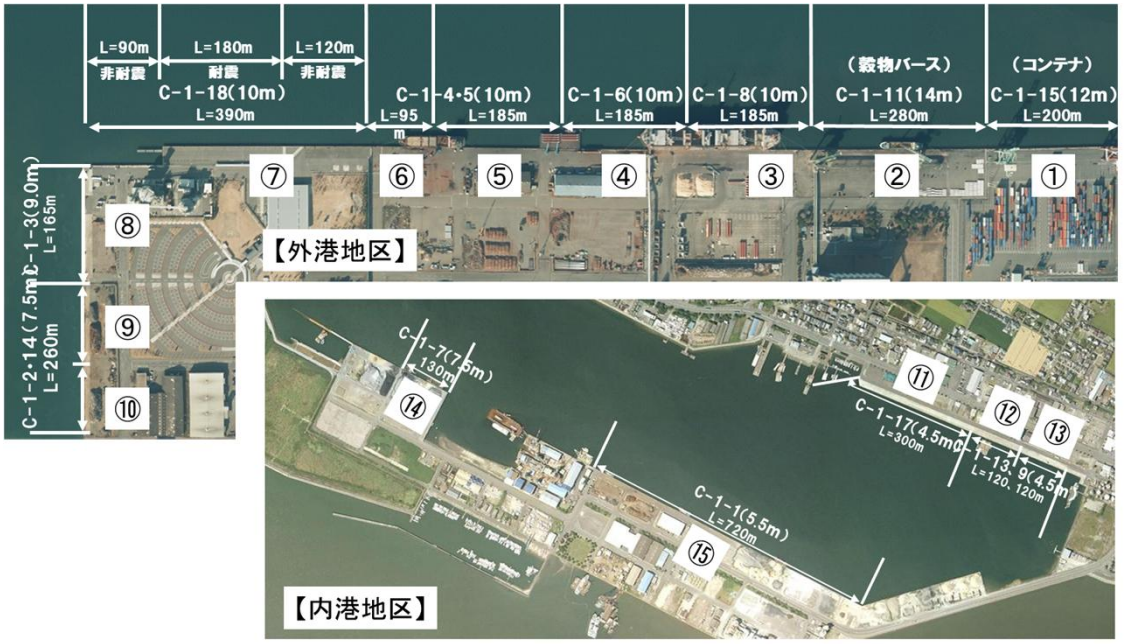
○ 平成28年熊本地震において、八代港等に通常の貨物船に加え自衛隊、海上保安庁等の支援船舶が集中し港湾が過度に混雑したため、熊本県からの要請を受け、国が港湾の利用調整やその前提となる施設の利用可否判断等の実務上の支援を実施したことを踏まえ、平成29年度に創設した非常災害時に港湾管理者からの要請に基づき、国が港湾施設の利用調整等の管理業務を実施できる制度。

○ 令和８年熊本地震においては、港湾法第55 条の３の３の規定に基づき、港湾管理者（熊本県）からの要請を受け、国土交通省が8月3日から八代港の岸壁等港湾施設の一部の管理代行を実施。

【非常災害時に国が行う港湾施設の管理業務（イメージ）】



【令和8年熊本地震における管理代行箇所（8/3当初時点）】



港湾法（改正　平成29年法律第55号、平成29年７月８日施行）（抜粋）

（非常災害の場合における国土交通大臣による港湾施設の管理等）
第五十五条の三の三

1　国土交通大臣は、非常災害が発生した場合において、当該非常災害の発生によりその機能に支障が生じ、又は生ずるおそれがある港湾の港湾管理者から要請があり、かつ、物資の輸送の状況、当該港湾管理者における業務の実施体制その他の事情を勘案して必要があると認めるときは、その事務の遂行に支障のない範囲内で、当該港湾管理者の管理する港湾施設の管理の全部又は一部を、期間を定めて、自ら行うことができる。この場合においては、第五十四条第一項及び第五十四条の二第一項の規定は、適用しない。

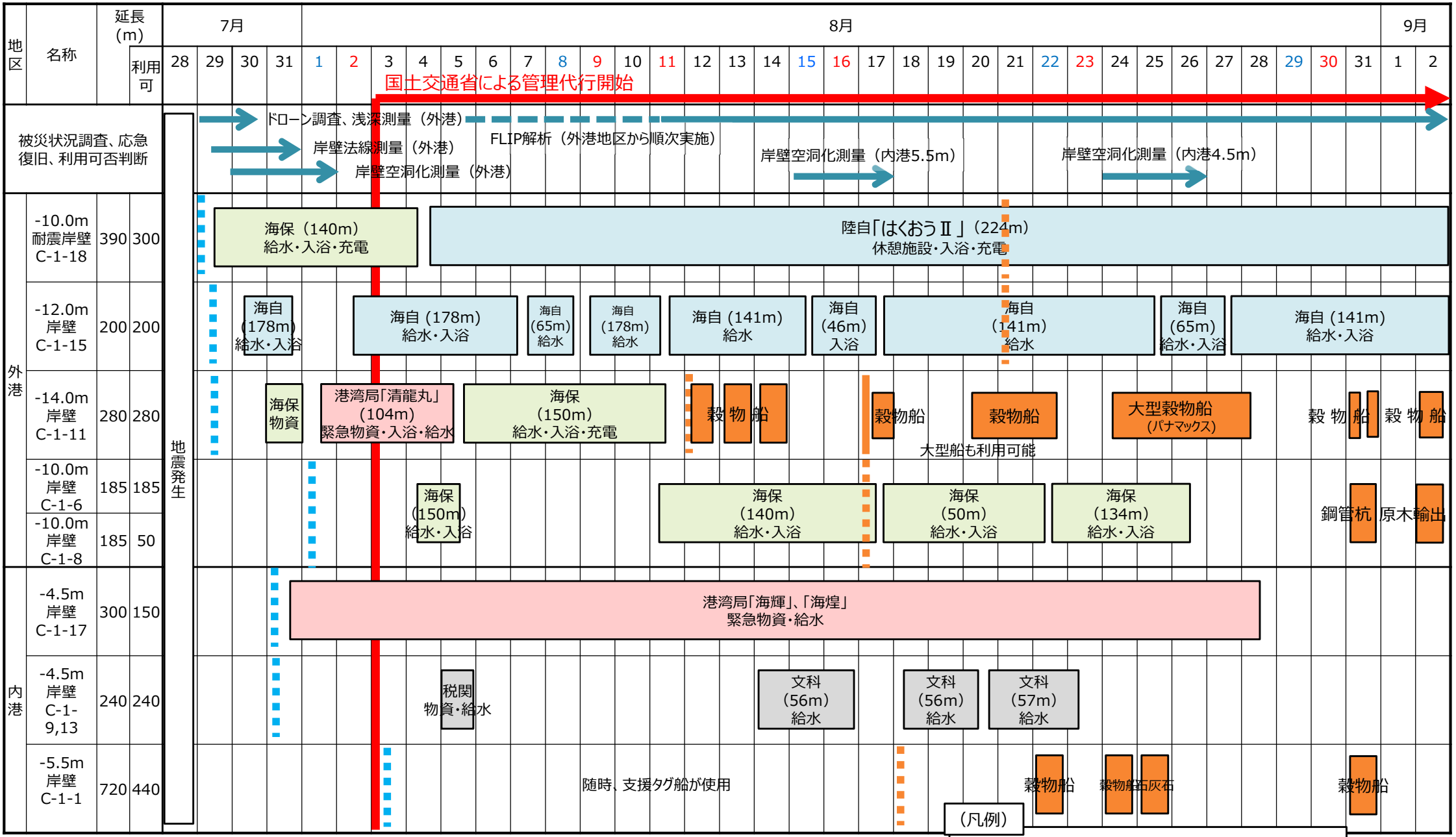
過去の実績

平成30年7月豪雨（呉港）、令和2年7月豪雨（八代港）、小笠原諸島周辺の軽石漂流・漂着事案（運天港）、
令和6年能登半島地震（七尾港、輪島港、飯田港、小木港、宇出津港、穴水港）、令和8年熊本地震（八代港）

令和8年熊本地震における八代港の岸壁利用の調整状況

国土交通省

R8.9.2 18:00時点



※ 船舶の接岸や荷積みされた貨物により完了していない調査等が存在する

※ 利用可能な岸壁には、慎重な接岸や構造物の変位発生等の異常発生時には速やかに離岸するなど、利用条件が設定されている。

※ 利用可否判断を実施し、支援船の係留施設としては利用可能だが背後用地が当面工事中のため未掲載の施設がある

国土交通省港湾局が八代港等に派遣した支援船

国土交通省
R8.8.28 17:00時点

中部地整



大型浚渫兼油回収船　清龍丸（せいりゅうまる）

総トン数：4,792トン
全　　長：104.00m
全　　幅：17.40m
水搭載量：約270トン

7/29　名古屋港出港
8/1　　八代港入港
　　緊急物資輸送
　　給水支援開始
8/3　　入浴支援開始
8/5　　八代港出港
8/10　名古屋港帰港

8/5までの支援実績 ※速報値

給水支援：49,600L　入浴支援：173名

北陸地整



大型浚渫兼油回収船　白山（はくさん）

総トン数：4,185トン
全　　長：93.90m
全　　幅：17.00m
水搭載量：約340トン

7/29　新潟港出港
8/1　　三角港入港
　　緊急物資輸送
　　給水支援開始
8/2　　入浴支援開始
8/5　　三角港出港
8/8　　新潟港帰港

8/5までの支援実績 ※速報値

給水支援：65,383L　入浴支援：18名

九州地整



調査観測兼清掃船　海煌（かいこう）

総トン数：195トン
全　　長：35.00m
全　　幅：11.00m
水搭載量：9トン

7/31　八代港入港
　　給水支援開始
8/28　給水支援完了



調査観測兼清掃船　海輝（かいき）

総トン数：128トン
全　　長：29.50m
全　　幅：9.00m
水搭載量：8トン

7/31　八代港入港
　　給水支援開始
8/28　給水支援完了

8/28までの支援実績 ※速報値

給水支援：80,100L

４隻合計（8/28時点）で
195,083Lの給水支援、191人の入浴支援を実施

船舶による給水支援等に係る情報提供の強化

国土交通省

○ 国土交通省港湾局と海上保安庁は、船舶による給水や入浴等の支援の場所が複数となっている状況を踏まえ、支援の実施場所や時間、支援の内容等の情報について、8月2日（日）からSNSを通じ連携して情報発信。

国土交通省港湾局
@MLIT_Port
フォローする

#令和８年熊本地震 を受け、#国土交通省港湾局 ・ #海上保安庁 では、#船舶を活用した支援 を実施しています。
本日も #八代港 、 #三角港 において #給水 、 #入浴 支援等を行います。
被災地の早期復旧・復興に向けて取り組んでまいります。
x.com/mlit_kyushu_kou
x.com/JCG_10th_RCGH



2026年08月03日 8:00 · **18** 表示

URL：https://x.com/MLIT_Port



熊本県Xでもリポストし、情報発信

八代港における給水・入浴支援等実施場所・時間等詳細

2026年8月3日（予定）

	場所	支援の種類	時間	対象	備考	船名（所属）
①	内港地区-4.5m岸壁	給水支援	11:00-17:00	市民向け（飲料水）	給水希望者は容器を持参してください。配布量は1回あたり5リットル程度です。	海輝、海煌（九州地方整備局）
②	外港地区-14m岸壁	入浴支援	夕方を予定	市民向け		清龍丸（中部地方整備局）
③	外港地区-10m岸壁	給水支援	00:00～12:00 午後未定	給水車向け（飲料水） 市民向け（飲料水）	給水希望者は容器を持参してください。 入浴支援中携帯充電可能。	かんばい（海上保安庁）
		入浴支援	09:00-11:00 午後未定	市民向け		

三角港における給水・入浴支援等実施場所・時間等詳細

2026年8月3日（予定）

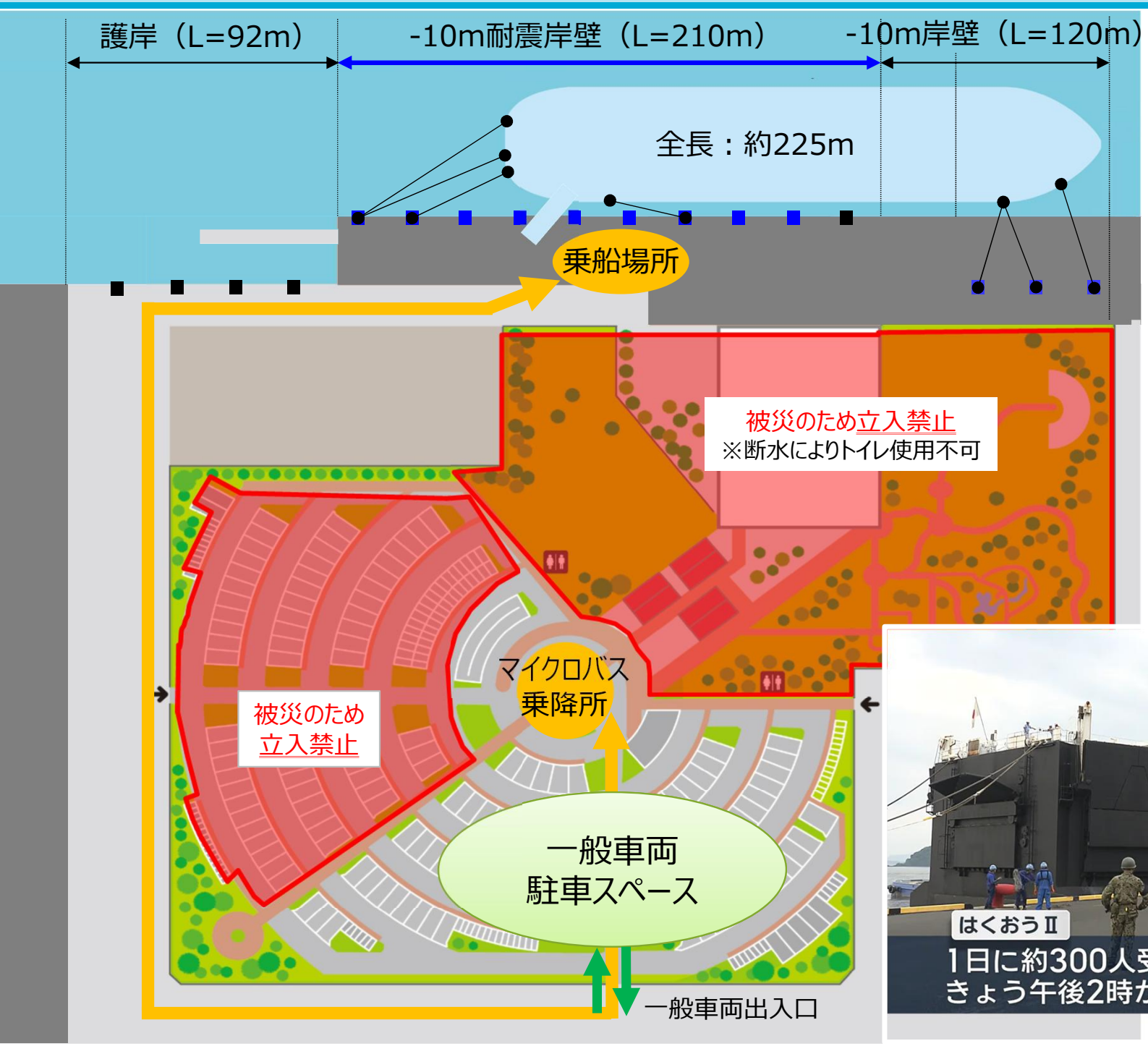
	場所	支援の種類	時間	対象	備考	船名
①	B岸壁	給水支援	10:00-17:00	市民向け（生活用水）	給水希望者は容器を持参してください。	白山（北陸地方整備局）
		入浴支援	①13:00-15:00 ②15:00-17:00 ③18:00-20:00 ④20:00-22:00	市民向け ①女性 ②男性 ③女性 ④男性	介助が必要な方、お子様単独での利用は困難です。 シャンプー、リンス、ボディーソープを利用可能	
②	新C岸壁	給水支援	00:00-12:30	給水車向け（飲料水） 市民向け（飲料水）	給水希望者は容器を持参してください。 給水支援中携帯充電可能。	あかいし（海上保安庁）
		入浴支援	09:00-11:30 （シャワーのみ）	市民向け		
②	新C岸壁	給水支援	16:00-終日	給水車向け（飲料水） 市民向け（飲料水）	給水希望者は容器を持参してください。 16時～携帯充電可能。	いわみ（海上保安庁）
		入浴支援	17:00-18:30 （浴槽あり）	市民向け		

※ 時間等が変更になる場合がありますので、最新情報は本文にリンクのある九州地方整備局・第十管区海上保安本部のSNS等でご確認ください。

八代港における「はくおうⅡ」の受け入れ

国土交通省

R8.9.16 09:00時点



■PFI船「はくおうⅡ」規格

総トン数：約16,900トン　全長：約225m
最大幅：26m　喫水：7.4m
最大積載量：旅客約740名,普通車約60台,
大型車約200台

■活動実績

8 / 4(火)　八代港入港
8 / 5(水)　入浴医療支援開始
8 / 6(水)～9(日)　一時離岸※台風接近のため
8/10(月)　再着岸
8/11(月)　入浴医療支援再開
8/14(金)　宿泊支援開始
9/13(日)　全支援終了
9/15(火)　八代港出港

■実施に係る役割分担

国交省九州地整：利用可否判断
同 港湾局　：バース利用調整
熊本県土木部　：その他港湾管理
同 観光文化部　：広報
陸上自衛隊　：利用者の動線管理
：バス輸送・動線上の人員配置
：マスコミ対応



出典：KAB 熊本ニュース

自衛隊の被災地支援船

国土交通省

○ 令和８年熊本地震においては、防衛省がＰＦＩ方式により契約している民間船舶である「はくおうⅡ」を八代港に派遣し、入浴や宿泊、医療に係る支援を実施。

船　名	１号船舶（ナッチャンＮＥＯ）	２号船舶（はくおうⅡ）
外　観		
保有船社	津軽海峡フェリー	新日本海フェリー
竣　工	2020年 6月	2004年6月
総トン数	約8,800ｔ	約16,900ｔ
全　長	約144m	約225m
全　幅	約23m	約26m
満載喫水	約5.90m	約7.43m
機 関 等	ﾃﾞｨｰｾﾞﾙｴﾝｼﾞﾝ 9,945kw×１	ﾃﾞｨｰｾﾙ 11,340kw×２ AZIPOD 17,600kw×１
速　力	航海速力20.0ﾉｯﾄ（約37km/h） 最大速力22.9ﾉｯﾄ（約42km/h）	航海速力20.0ﾉｯﾄ（約37km/h） 最大速力25.0ﾉｯﾄ（約46km/h）
最大積載量 (大型車8m換算) (普通車5m換算)	旅客：517名 車両：大型車 100台、普通車 30台	旅客：746名 車両：大型車 203台、普通車 63台
サイドランプ	１基（右舷）、ランプ耐荷重：50ｔ	２基（左右舷）、ランプ耐荷重：70ｔ
係留港	函館港（北海道函館市）	相生港（兵庫県相生市）

八代港の貨物船による利用状況

国土交通省

R8.9.2 18:00時点

○ 外港地区においては、8月12日（水）から穀物船の受け入れを再開し、8月24日（月）には大型穀物船（パナマックス船）も入港。

○ 内港地区においても、8月22日（土）に貨物船の受け入れを再開。8月25日（火）には復旧に欠かすことのできないセメントの原材料となる石灰石を積載したばら積み船が、八代港に入港し、荷役を再開。

地区	バース	日付	船舶	貨物の品目、取扱量	備考
外港	C-1-11 14.0m 穀物バース	8月12日(水)	ZLC凪神丸(62m、297トン)	ふすま(363トン)	
		8月13日(木)	妙宝丸(62m、299トン)	大豆粕(598トン)	
		8月14日(金)	１１明純(77m、498トン)	菜種粕(599トン)	
			若海丸(61m、219トン)	大豆粕(600トン)	
		8月17日(月)	甲子丸(62m、282トン)	ふすま(307トン)	
		8月20日(木)	RU YI HAI(97m、2,980トン)	大豆粕(3,501トン)	
		8月24日(月)	KYRA ZAFIRA(229m、80,263トン)	とうもろこし(29,846トン)	パナマックス
		8月31日(月)	有和(61m、274トン)	菜種粕(599トン)	
			大晋丸(61m、274トン)	菜種粕(599トン)	
		9月2日（水）	第一だいえい丸（63m、298トン）	菜種粕(597トン)	
	C-1-6、8 10.0m岸壁	8月31日(月)	第十一旭丸(78m、499トン)	鋼管杭	
		9月2日(水)	FU CHENG(96m、3435トン)	原木輸出	
内港	C-1-1 5.5m岸壁	8月22日(土)	第一だいえい丸(63m、298トン)	大豆粕	
		8月24日(月)	日和丸(61m、267トン)	菜種粕	
		8月25日(火)	金剛丸(54m、200トン)	石灰石	
		8月31日(月)	ひさしげ2(59m)	大豆粕	



ZLC凪神丸



KYRA ZAFIRA（パナマックス穀物船）



金剛丸

八代港の復旧の進捗と見通し

国土交通省

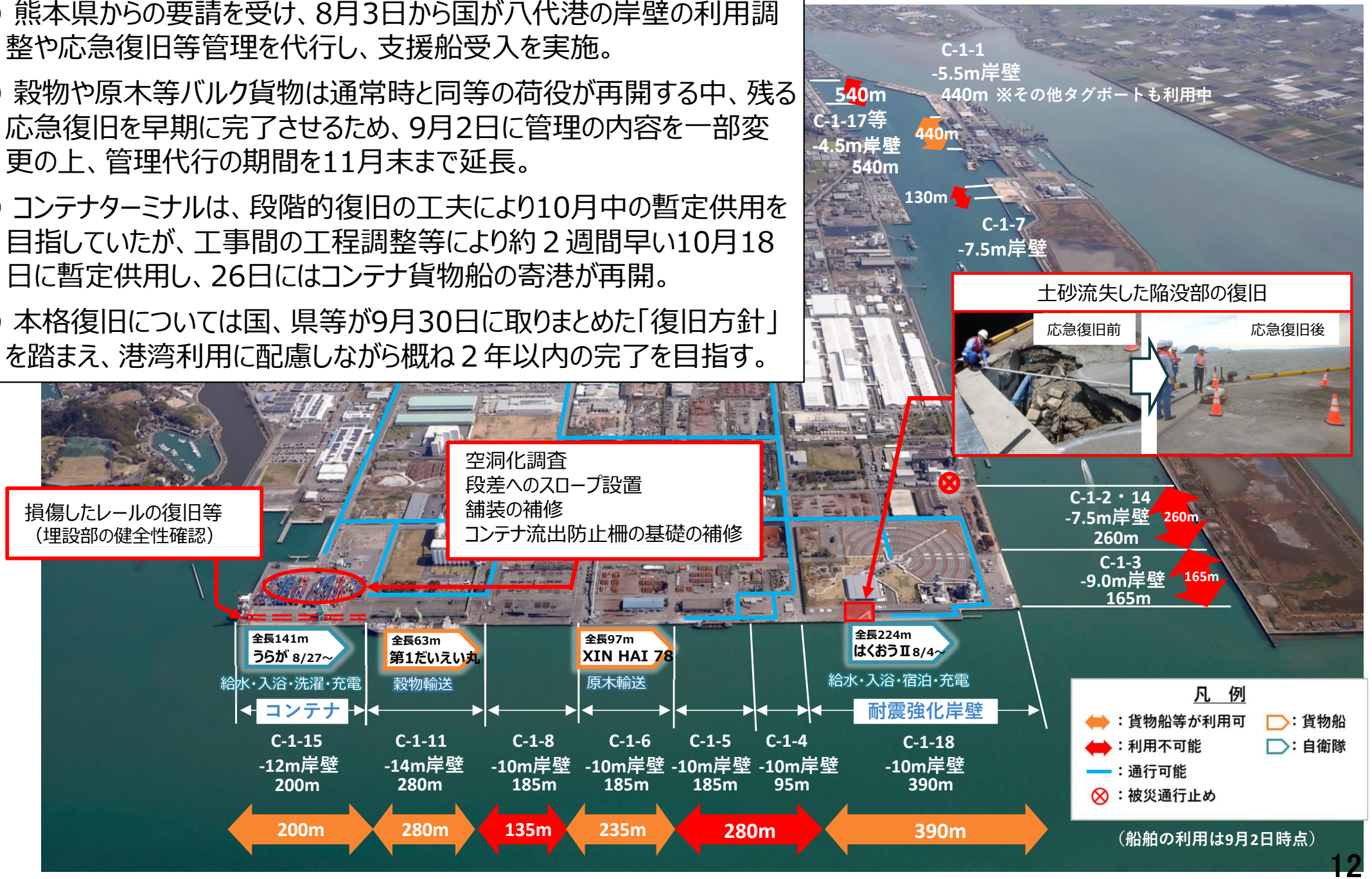
R8.10.26 11:00時点

○ 熊本県からの要請を受け、8月3日から国が八代港の岸壁の利用調整や応急復旧等管理を代行し、支援船受入を実施。

○ 穀物や原木等バルク貨物は通常時と同等の荷役が再開する中、残る応急復旧を早期に完了させるため、9月2日に管理の内容を一部変更の上、管理代行の期間を11月末まで延長。

○ コンテナターミナルは、段階的復旧の工夫により10月中の暫定供用を目指していたが、工事間の工程調整等により約２週間早い10月18日に暫定供用し、26日にはコンテナ貨物船の寄港が再開。

○ 本格復旧については国、県等が9月30日に取りまとめた「復旧方針」を踏まえ、港湾利用に配慮しながら概ね２年以内の完了を目指す。



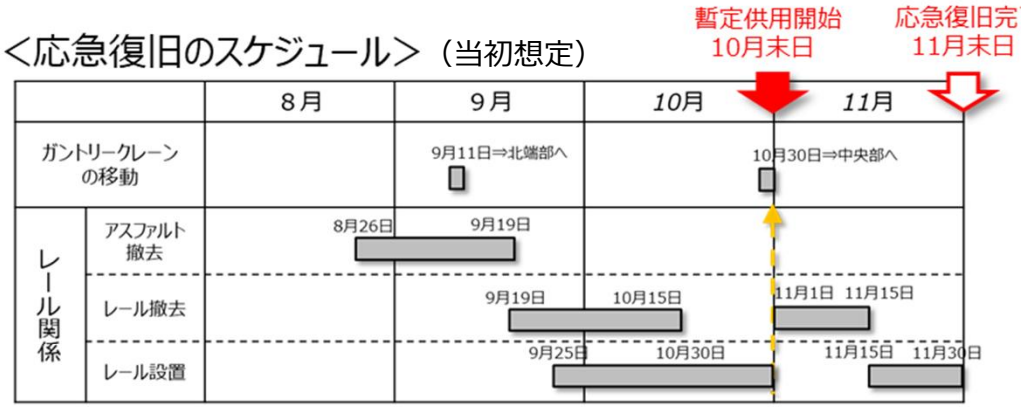
八代港コンテナ岸壁の段階的復旧による供用の前倒しの工夫

国土交通省
R8.10.19 11:00時点

○ 八代港のコンテナターミナルは、ガントリークレーンのレールについて11月中を目標にレールを応急復旧し、荷役再開が可能となる予定であったが、利用者（港湾運送事業者）から再開前倒しの要請を受けたことから、九州地方整備局が利用者等と連携し、応急復旧の工程と荷役の工夫を検討。

○ コンテナ船の受け入れに最低限必要な延長100mを先行させる段階的復旧により10月中の暫定供用を目指すこととし、工事間の工程調整により10月18日に完了。

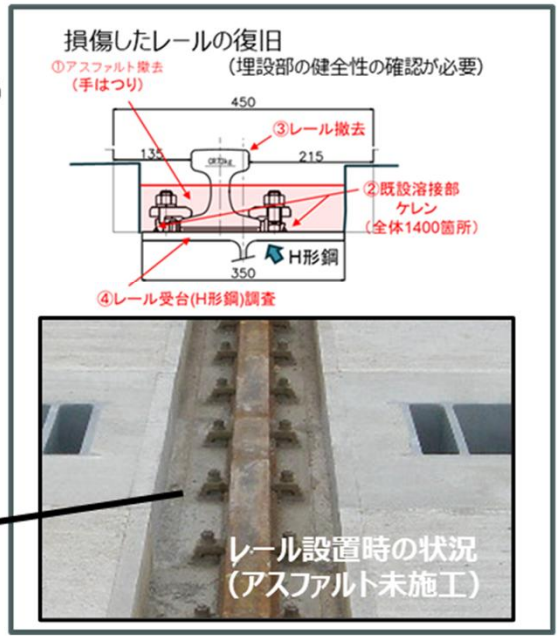
＜応急復旧のスケジュール＞（当初想定）



アスファルト撤去(手はつり)

9月8日現在166m撤去済み（約59%）



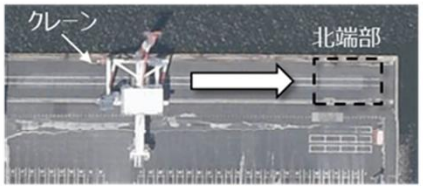


＜レールの段階的な復旧の手順＞

コンテナ船の受け入れに最低限必要な100mを先行して復旧し、その後、船の接岸日以外で、残りの40mを復旧

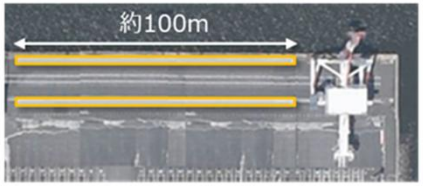
ステップ①

クレーンを岸壁北端部の係留装置へ移動



ステップ②

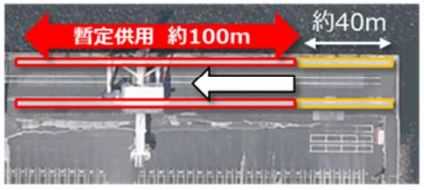
レールの黄色い部分の健全性の確認のうえ、補修



ステップ③

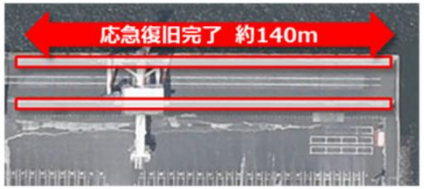
クレーンを岸壁中央へ移動し、100mで暫定供用。

その後、船の接岸日以外で、北端部のレールを復旧



ステップ④

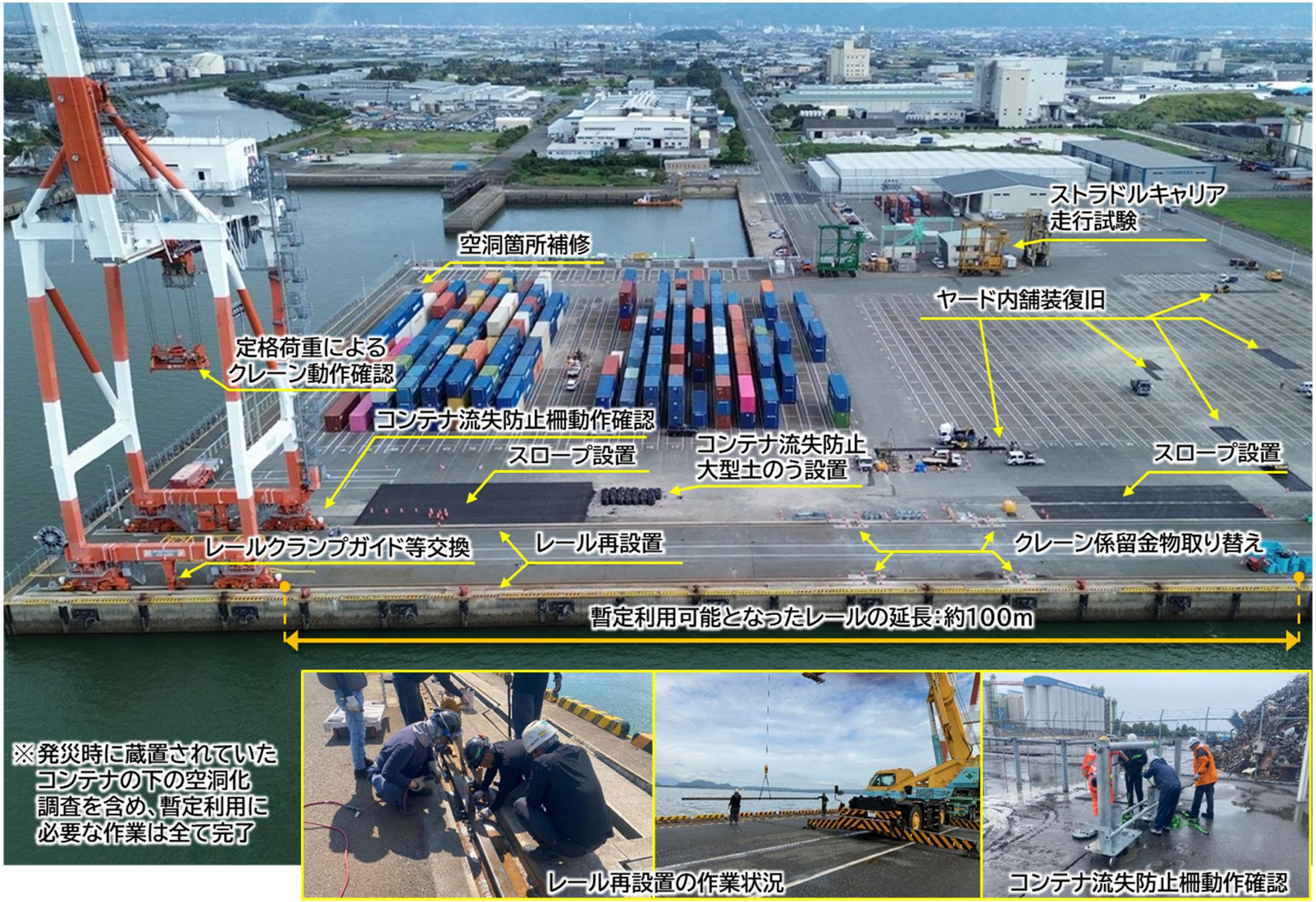
約140mの応急復旧完了



八代港コンテナターミナルの暫定供用の状況

国土交通省

R8.10.16 14:00時点

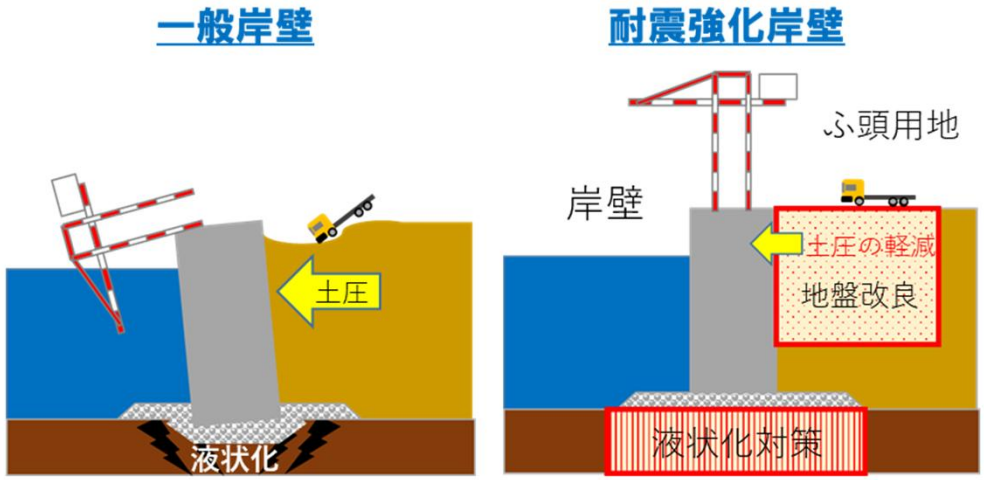


重要港湾以上における耐震強化岸壁の整備状況

国土交通省

○ 重要港湾以上において、港湾計画に位置付けられている耐震強化岸壁の整備率は約５割だが、このうち「はくおうⅡ」の受け入れが可能な施設は３割弱。耐震強化岸壁が一つも整備されていない港湾は２割強。

○ 切迫する首都直下地震や南海トラフ地震、日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震等を踏まえつつ、今後は支援船の受け入れ等も考慮し、耐震強化岸壁の整備促進を図ることが必要。



■耐震強化岸壁の整備状況

	計画数	整備済	整備中
耐震強化岸壁数	434	218 (50%)	50 (12%)

このうち、自衛隊支援船の受け入れが可能な整備済岸壁数

はくおうⅡ：60施設〔兵庫県相生市〕
（受入に必要な延長270m・水深8.5m
定員等：746名、大型車 203台、普通車 63台）

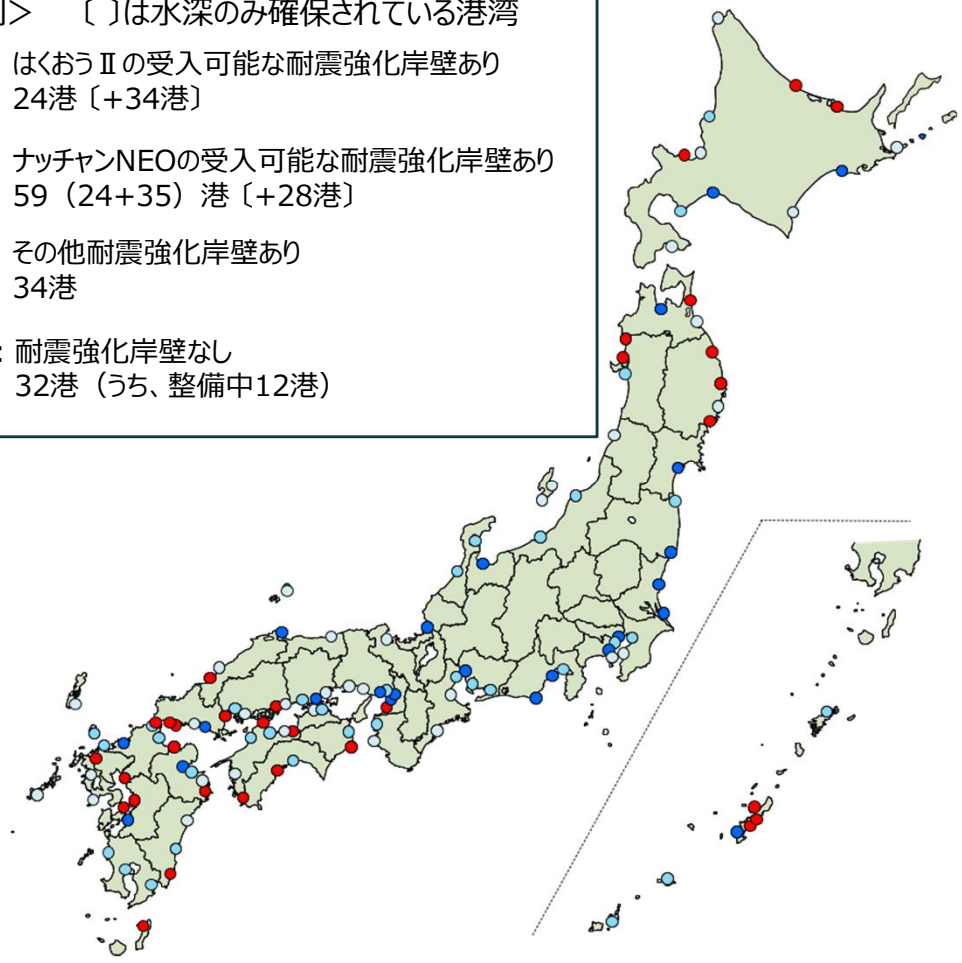


ナッチャンNEO：135施設〔北海道函館市〕
（受入に必要な延長185m・水深6.5m
定員等：517名、大型車 100台、普通車 30台）



■耐震強化岸壁が確保されている港湾

<凡例>　〔 〕は水深のみ確保されている港湾
- ：はくおうⅡの受入可能な耐震強化岸壁あり
  24港〔+34港〕
- ：ナッチャンNEOの受入可能な耐震強化岸壁あり
  59（24+35）港〔+28港〕
- ：その他耐震強化岸壁あり
  34港
- ：耐震強化岸壁なし
  32港（うち、整備中12港）



※国土交通省港湾局調べ、重要港湾以上の港湾の125港を対象（令和8年10月1日時点）